

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
福祉住環境コーディネーター対策											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	三矢 雅人			実務経験		職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
建築家のもとで１０年間設計監理の修業をしたのち独立し、デザイン事務所を主宰。リノベーションや住宅、オフィスビル等の設計監理などに関わる経験を持つ。											
授業概要											
まとまりのあるテキストを用いて、項目ごとに要点を理解させ問題を解かせる。そして年度ごとの過去問を解いていくことにより問題になれ、宿題も含めて反復することにより記憶していくようにする。											
到達目標											
少子高齢化社会の現状・重要性、高齢者の健康と自立、バリアフリーとユニバーサルデザイン、住まいの安全性と安全なまちづくりを学習し、福祉住環境コーディネーター３級の資格を取得することが到達目標である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
本試験の結果	60%	本試験の結果を総合的に評価する									
小テスト	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
出席状況	15%	段階的な理解度としての評価									
平常点	10%	授積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、段階的に理解していかないと遅れをとるため、遅刻・欠席は厳禁とする。体調不良などで休まなくてはならない場合は、自分で学習し後れを取らないようにすること。予習・復習・問題を解くことを自宅でも行うこと。やりっぱなしにせずに解いた問題の復習は何よりも効果がある。											
教科書教材											
福祉住環境コーディネーター検定試験 ３級公式テキスト／福祉住環境コーディネーター３級過去&模擬問題集											
回数	授業計画										
第1回	暮らしやすい生活環境をめざして 少子高齢化社会の現状と課題、福祉住環境整備の必要性										
第2回	暮らしやすい生活環境をめざして 介護保険制度の仕組みを理解。項目別過去問による読解										
第3回	健康と自立を目指して 高齢者の健康(食事と運動) と自立										
第4回	健康と自立を目指して 障害の種類と自立の方策。項目別過去問による読解										
第5回	バリアフリーとユニバーサルデザイン バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
福祉住環境コーディネーター対策	
第6回	バリアフリーとユニバーサルデザイン さまざまな用具。項目別過去問による読解
第7回	安全・安心・快適な住まい 住まいの整備のための基本技術
第8回	安全・安心・快適な住まい 生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい
第9回	安全・安心・快適な住まい 項目別過去問による読解
第10回	安心できる住生活とまちづくり ライフスタイルの多様化と安心できる生活環境／項目別過去問による読解
第11回	模擬試験 過去問による力試し
第12回	模擬試験 過去問による力試し
第13回	模擬試験 過去問による力試し
第14回	本試験の解説 本試験の答え合せ及び解説
第15回	福祉器具等の体験 福祉用具体験施設の体験